


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2016年03月15日	ジカウイルス感染症の発生状況（更新5）★
南米	2016年03月15日	チクングニア熱の発生報告 - アルゼンチン

★【2016年03月15日更新 ジカウイルス感染症の発生状況（更新5）】

2016年3月10日付けでWHOよりジカウイルス感染症（いわゆるジカ熱）の発生状況に関する情報が報告されています。ジカウイルス感染症の発生状況は以下のとおりです。

註：内容を簡潔に伝えるために、内容を絞って掲載しています。詳細は、原文でご確認下さい。

【概要】

- 2016年3月8日に、国際保健規則（2005）に則り、第二回緊急委員会会議が事務局長によって召集されました。委員会は、ジカウイルス感染症が発生するいくつかの地域で小頭症やその他の神経障害が集団発生していることが国際的な懸念に対する公衆衛生上の緊急事態の構成条件を引き続き満たしており、ジカウイルスと因果関係があることを示す証拠が増えてきていることを助言しました。
- 2007年1月1日から2016年3月9日までに、合計52の国と地域（原文どおり記載）でジカウイルスの地域内（国内）感染が報告されています（2015年1月以降は41か国）。最新のジカウイルスの国内感染はフィリピンで報告されています。これらの国と地域のうち、現在は5か国で流行が終息したことが報告されています。また、3か国では、媒介することが知られている如何なる蚊も存在しない中で国内感染が報告されており、性交渉による感染の可能性が高いとみられています。
- 2014年にアメリカ大陸で初めてウイルスが発見されて以降、ジカウイルスの地理的な分布は着実に拡大しています。ジカウイルスへの感染伝播はアメリカ大陸31の国と地域から報告されました。
- これまでに、ブラジルに滞在していたことに関係する2例がアメリカ合衆国とスロベニアで確認された以外、小頭症及びその他の先天奇形の増加はブラジルとフランス領ポリネシアのみで報告されています。コロンビアでは、小頭症および/または先天奇形の報告例が調査されています。
- 9つの国と地域で、ギラン・バレー症候群（GBS）の発生率の増加、および/またはGBS患者の中でのジカウイルス感染の検査確認が報告されました。
- 最近、発表されたブラジルでのコホート研究では、妊娠中のジカウイルス感染に伴い小頭症やその他の先天異常のリスクが増加することが示され、ジカウイルスと小頭症やその他の先天異常との間に因果関係が存在する可能性をさらに支持する情報が提供されています。
- 世界における感染の予防と制御の戦略が、対策戦略の基本骨格に基づきWHOによって開始されました。この骨格は、調査活動、対策活動、研究活動からなり、この発生状況の報告もこれらの項目に基づいて構成されています。

（省略）

《出典》WHO. Situation Report. 10 March 2016

Zika virus, Microcephaly and Guillain-Barré syndrome

http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/204609/1/zikasitrep_10Mar2016_eng.pdf?ua=1